

要 望 書

熊本県の美味しい食と、風光明媚な自然を守ってください 川内原発の再稼働に反対を表明してください

熊本県大阪事務所 御中

日頃より、関西において、熊本県の物産や観光などの情報発信にご尽力のことと存じます。

「くまモン」と共に、関西でも熊本県への愛着が強まっています。関西とは違った気候風土、豊かな自然で育った農畜産物や海産物には、牛肉、天草の魚介類、きくらげ、トマト、なす等の新鮮な野菜、スイカや夏みかん、特産品のラーメンなど例を挙げればきりが無いほど美味しいものがたくさんあります。特にこの季節、出荷全国1位のトマトやスイカなど、私達も美味しく頂いています。

また、阿蘇や天草など勇壮な自然は、関西で味わうことができない感動を与えてくれます。

しかし、熊本県と同じく自然豊かで農畜産物、海産物が美味しい福島県では、原発事故によって、多くの人々が故郷を追われ、漁業者や農業者、畜産農家の皆さんは精を出してきた仕事から引き離され、今なお困難な避難生活が続いています。

事故後、特に西日本、九州方面の農産物、海産物の需要も高まっていますように、消費者は放射能汚染には敏感です。

そんな中、原子力規制委員会は「安全だとは言っていない」としながら、川内原発1、2号機の再稼働を進めており、私達は強い危機感を抱いています。火山のリスクについては専門家の警告に耳を貸そうとせず、九電の対策の内容も確認せずに「九電が対処の措置をとると宣言しているからそれでいい」と全く無責任な対応です。

川内原発が再稼働され事故が起これば、原発から約50kmの熊本県内にも甚大な被害が及びます。福島原発事故で、約50km離れた飯舘村の深刻な被ばくと汚染の事実がそのことを物語っています。

熊本県は、唯一の県外避難先となっており、川内原発で事故が起こったときには、鹿児島から約1万1千人の避難者を受け入れる計画になっています。熊本県での受け入れが本当に可能なのかと水俣の市民の皆さんも危惧されています。

- ・出水市から約6,600人が水俣市へ
- ・阿久根市から約3,500人が芦北町へ
- ・阿久根市から約1,000人が津奈木町へ

しかし、鹿児島県の避難計画はざさんなもので、とりわけ避難弱者は切り捨てられようとしています。ご存じのように、鹿児島県知事は原発から10km以遠の避難計画の立案を放棄し、「机上の空論」として、福祉施設や病院に立案と責任を押し付けています。さらに規制庁は「5km圏外

のUPZ（30km圏内）の施設は、避難先や移動手段が決まっていなくても、事故がおきたときに調整する仕組みが決まっていればいい」と、全く無責任極まりない態度です。

これでは、高齢者・病人・障がい者・児童・妊婦等の避難弱者を見捨てるも同然で、到底ゆるされるものではありません。

水俣病との闘いを続けられている熊本の皆さんも、このような川内原発の再稼働に反対を表明されています。

「安全だとは言っていない」原発を、避難計画もできない状況で、再稼働していいはずがありません。

ぜひ、水俣の悲劇を繰り返してはならないと訴えられている蒲島郁夫熊本県知事に、私たち関西の消費者の声を届けて下さい。

要 望 事 項

1. いつまでも、熊本に安心して観光に行くことができるよう、また、安心して熊本県産の美味しい食を味わえるよう、豊かな自然環境を守り続けて下さい。
2. 九州電力川内原発の再稼働は認められないと表明してください。

2014年8月5日

提出団体（16団体）

おおい原発止めよう裁判の会 / おおさか生命環境コミュニタス / 大阪大学附属病院看護師労働組合 / 大阪の公害問題を考える会 / グリーン・アクション / 原発やめよう/つながろう関西・マダム会議 / 玄米ごはんとお茶とお菓子・MOMONGA / 日本消費者連盟関西グループ / 真宗大谷派 法灯舎 / 七番めの星 / 奈良脱原発ネットワーク / ノーニュークス・アジアフォーラム・ジャパン / 福島原発からの放射能放出をやめてほしいと願う阪大病院看護師の会 / 美浜・大飯・高浜原発に反対する大阪の会 / 未来をつむぐ母の会 / 「六ヶ所村ラブソディ」を上映する会 in 阪南中央病院 /

連絡先団体：グリーン・アクション

〒606-8203 京都市左京区田中関田町 22-75-103 Tel: 075-701-7223